

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	経済研究所
評価基準 7	教育研究等環境
点検・評価項目(4)	7-4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
	研究所の運営体制の適切性
	研究会、セミナー、シンポジウム等の開催および学術雑誌の刊行状況
点検・評価項目(6)	7-6 教育研究等環境の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 点検・評価

【点検・評価項目ごとの現状説明】

7-4	① 研究員の教育研究活動を支援するため、研究員が希望する資料や書籍等を購入し、貸与している。 ② 英語文献検索のオンラインデータベース（JSTOR、NBER）への接続により、研究を促進する環境を整えている。 ③ 共同研究プロジェクトの調査・研究費を補助している。 ④ 「経済シンポジウム」「経済研究所セミナー」「ランチタイム・セミナー」「経済研究会」の広報宣伝、必要経費の助成を行っている。 ⑤ 「研究所報」や「経済研究」を発刊し、研究員の成果を発表し、広報する場を提供している。
7-6	① 従来定期的に購入してきた雑誌類や書籍について、運営委員会を開いて、今後も継続して購読する必要があるかを定期的に検証し、必要性が失せたかその程度がかなり低くなったと認めたものについては、購読を中止する。 ② 研究員の選任については、毎年度教授会での承認を得ている。

【効果が上がっている事項】

7-4	予算が許す限り、研究員や共同研究プロジェクトが希望する資料や書籍の購入を実施しており、英語文献検索のオンラインデータベースへのアクセス権も確保している。
7-6	

【改善すべき事項】

7-4	教育・学生指導・学内行政の実質負担増により各研究員に著しく時間の制約が加わっており、研究所枠内での研究時間の確保が難しい状況である。
7-6	蔵書などの管理体制を整備・確立させる必要がある。また、蔵書等を保管・管理するスペースが逼迫しつつあることから、今後も継続して保管・所蔵する必要が無いと判断される書籍などについては、所定の手続きを経て廃棄処分し、現在および将来の教育研究活動を支援するのに必要な書籍に限って保管および提供（研究員に）する体制を整える必要がある。

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

『経済研究所所報』及び『経済研究』
-------------------

《指標データ》

なし

III 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	7-4 蔵書及び定期購読雑誌等の保管と管理体制について、運営委員会で検討する。	左記の審議結果が、運営委員会議事録に記載されていること。	→					
14年度 目標	7-4 蔵書などの登録台帳を整備し、資料等の所在の照合確認を行う。	蔵書等の管理台帳を整備し、現物の保管状況と台帳の内容が一致していること。	→	A				